

2 維持・管理体制

1) 施設・設備等の維持・管理体制

(A:施設・設備等を維持・管理するための学内的な責任体制の確立状況)

(B:実験等に伴う危険防止のための安全管理・衛生管理と環境被害防止の徹底化を図る体制の確立状況)

【現状の説明】 政治政策学研究科、アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科および人間福祉学研究科の大学院関連分の施設・設備の維持及び管理については、学年開始時、学期開始時、月初めに大学院事務室が定期的に点検を行っており、大学事務局総務部総務課や聖学院本部総務局施設課と連携して、不備不足等について対応している。原則として、細かな設備・備品等のメンテナンスは大学院事務室が担当し、施設等の大型のものは総務部総務課や総務局施設課の担当としている。

【点検・評価】 本大学院における施設・設備等を維持・管理するための責任体制や安全管理・衛生管理と環境被害防止の体制については、大学総務課や聖学院本部と連携分担して確立していると評価できる。大学院の拡充に伴っての施設の狭隘や教室の不足が過去に指摘され、特に全大学院生を対象とする授業や大学院担当教員が一同に会する会議のための、40～60人を収容する教室の設置が火急の課題となっていた。しかし、今秋学期に大学院コモンルーム（1号館1階）や大学院セミナールーム（1号館1階）が新たにオープンするので、当面の課題の解決がなされている。

【課題・方策】 研究室や教室等の大学院関連の施設がキャンパス内に分散していることで、綿密な管理を行うことが難しい状況を生み出している。施設・設備的には大学学部や総務部総務課、さらには学内管理委託業者などとも連携した体制を整えていかねばならない。

第2節 情報インフラ

1 経常的な研究条件の整備

1) 情報インフラの整備状況

(B群:学術資料の記録・保管のための配慮の適切性)

(B:国内外の他の大学院・大学との図書等の学術情報・資料の相互利用のための条件整備とその利用関係の適切性)

【現状の説明】 学術資料・図書は聖学院大学総合図書館が一括して管理している。詳しくは第I部大学学部第8章図書館および図書・電子媒体等の項を参照願いたい。また、情報関連機器の整備状況については、第1節施設・設備に詳述している。

【点検・評価】 本大学院に在籍している学生は大学院研究室、コモンルームに設置されたパソコンを使い、図書館のOPACシステムで蔵書検索が可能である。他大学の蔵書検索はNACSISを利用し、総合図書館を介して容易に文献複写・貸与のサービスが受けられる。また本大学院講義の参考文献と修士論文は大学院コモンルームに常備してあり、誰でも自由に閲覧することができる。現在までのところ、大学院の情報利用環境は万全である。

第6章
施設・設備等

【課題・方策】 情報インフラに関しては、良く整備され、利用上の問題は特に見あたらない。今後の課題としては、教職員や学生がそれぞれのパソコンを学内のネットワークへ接続したい要求が今後増えてくることが予想されるが、セキュリティ等の問題との関連でなお十分な検討を行う必要がある。